

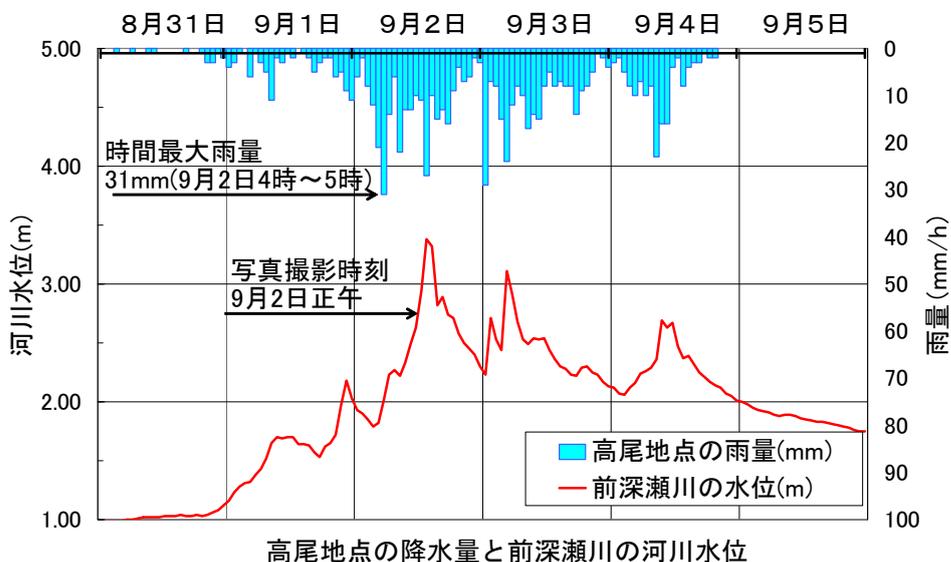
川上ダム通信 2011 10 月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

台風12号がもたらした降雨と防災業務

紀伊半島を中心に大きな豪雨被害をもたらした台風12号。被害の要因は、台風が太平洋高気圧と大陸の高気圧に行く手を阻まれたことで時速10～15kmと非常に遅い動きとなり、これによって大量の雨が特定の箇所に長時間降り続き、被害を拡大させました。



川上ダム流域（前深瀬川

及び川上川沿い）でも多くの降雨がありました。雨は8月31日から9月4日までの5日間にわたり降り続き、その間の降水量は累計で767mmと過去最高となり、最大日降水量は281mm、最大1時間降水量は31mmを記録しました。伊賀市における過去10年間（平成12年～平成21年）の年間平均降水量は1,312mmですから、数日の間に年間降水量の半分以上の雨が降ったことになり、今回の台風がもたらした降雨がいかに大きいものであったのかが分かります。また、この降雨により木津川の水位が上昇したため、上林及び上神戸地区の一部では河川が氾濫する恐れから避難勧告が出されました。

川上ダム建設所では、こうした激しい降雨が発生または予想される場合、事業地及びその周辺の安全



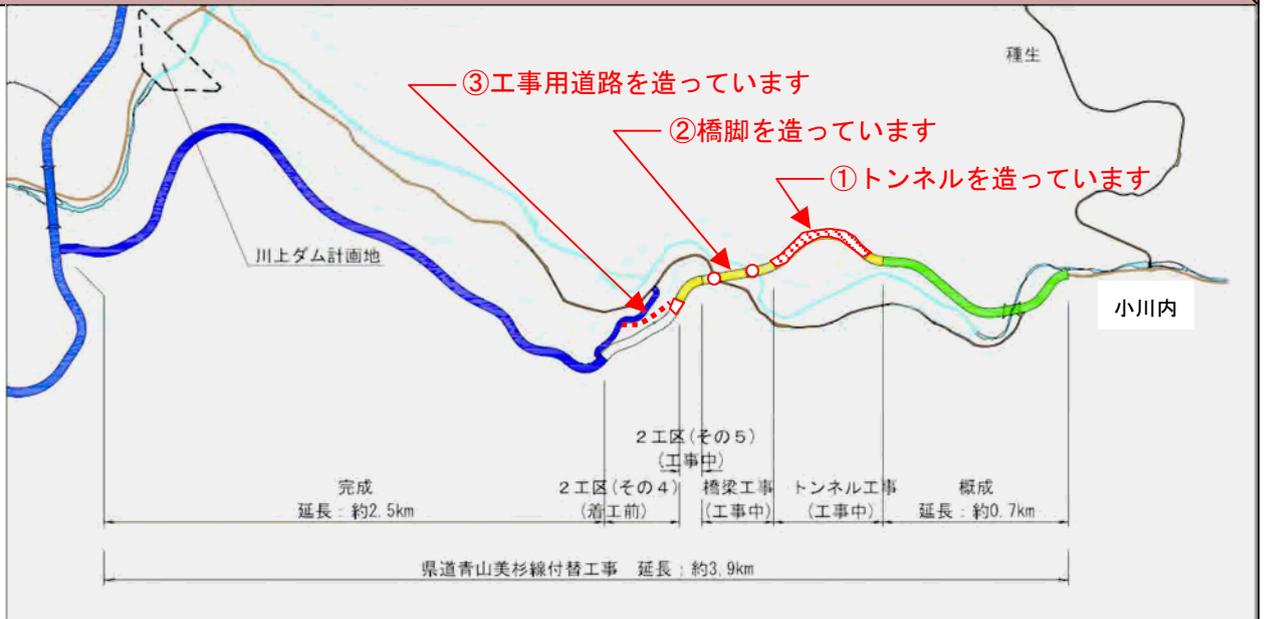
9月2日正午の前深瀬川の様子（西之澤付近）

確保、災害が生じた場合の対策を図るため、所長を本部長とする防災本部を設置します。台風12号が襲来した9月1日から9月4日まで防災態勢を執り、関係機関への情報提供をはじめ、事業地の巡視や工事現場での安全を確保しました。巡視では雨風による倒木や落石、法面の小規模な滑落等は見られはしましたが、幸いにも、第三者に影響を及ぼすような被害はありませんでした。

【工務課 鈴木弘二】

※文中の数値は速報値であり、今後、変わることがあります。

県道青山美杉線付替工事の状況



① 青美線トンネル工事

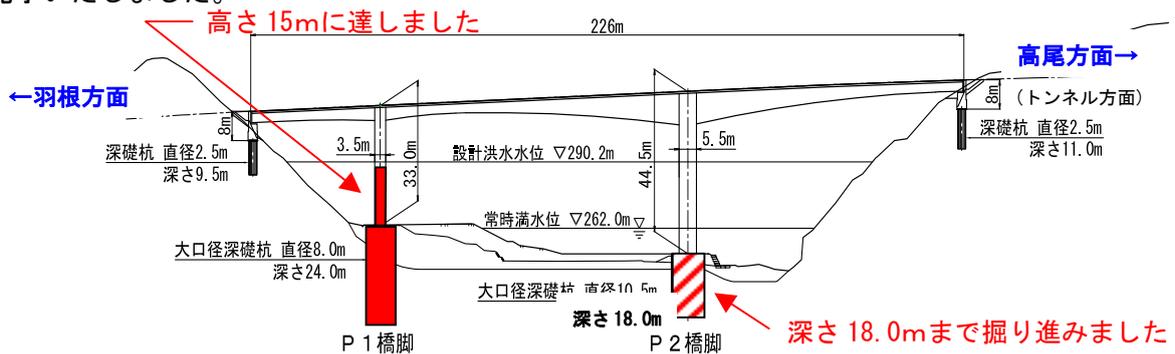
トンネル掘削を3月30日に開始し、約5ヶ月半をかけて9月14日に貫通しました。現在はトンネルの底盤コンクリートを施工しています。これに続きトンネル下流側の橋梁へ繋がる道路工事も行っています。



P1橋脚は15mの高さに達しました

② 青美線貯水池横断橋工事

P1橋脚(柱頭部含む)は、9月28日現在高さ33mのうち15mに達しました。また、P2橋脚の基礎は、9月28日現在で深さ18.0mまで掘り進み掘削を完了いたしました。



③ 2工区(その5)工事

2工区(その5)工事は、9月28日現在で工事用道路の施工を終了し、本線道路約81mの施工をするために地山の掘削を開始いたしております。

工事用道路を施工しています→



これら3件の工事関係車両は、県道松阪青山線等を通行いたします。地域の皆様には、引き続き、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

【工事課 森岡浩然】

植物図鑑シリーズ(第14回)

多くの植物は、葉緑素を持ち光合成を行って生活しています。しかし、植物の中でも変わった種があり、葉緑素を持たず、光合成を行えない植物も存在します。今回は、光合成を行えないツチアケビを紹介します。

ツチアケビは、伊賀の希少動植物をまとめた『伊賀のレッドデータブック』において、絶滅危惧Ⅱ類（伊賀地方で絶滅の危険が増大している種）に指定されています。



開花状況写真

ラン科の植物で、6～7月頃が開花時期、直径3cm程度の黄褐色の花をつけます。山地の林内や笹藪などに生え、キノコのナラタケと共生し、ナラタケ菌を消化吸収して栄養を得る腐生植物（光合成で自活する能力がなく、菌類と共生して栄養素を得て生活を行っている植物）です。秋には、6～10cm程度の真っ赤な果実をつけます。この実の形がアケビの実に似ていることが名前の由来です。

【環境課 笹原智弘】



果実状況写真

市民夏のにぎわいフェスタ2011に参加

川上ダム建設所は、8月21日(日)伊賀上野駅前周辺で開催された、上野商工会議所主催の「市民夏のにぎわいフェスタ2011」に参加しました。

川上ダム建設所の展示ブースでは、川上ダムの役割や環境保全の取り組みを伝えるためのパネルや実物大のオオサンショウウオのパネルを展示するとともに、オオサンショウウオの重さを体験してもらうコーナーを設けました。

フェスタは親子連れを中心とした多くの市民の皆様で賑わい、川上ダム建設所のブースではオオサンショウウオの実物大のパネルを見た方々からは、その大きさに対する驚きの声が聞かれました。

また、実際のオオサンショウウオと同じ重さの重りを持って、その重量を言い当ててもらった体験コーナーでは、およそ10kgあるオオサンショウウオの重さに「オオサンショウウオは意外に重たいね」との声が多く聞こえました。その他に、ダムや環境についてのパネルを熱心にご覧になる方も見られました。

地域住民の方々と身近に接することが出来たことに対しまして、にぎわいフェスタ2011の主催者及び地元の方々に御礼申し上げます。

【総務課 竹村尚康】



オオサンショウウオの重さを体験

位置を測る「三角点」

四季折々の景色を楽しむことができる青山高原。そのハイキングコースの途中に測量の基準「三角点」があります。この三角点には地名から「勝地（かちじ）村」という名称が国土地理院によって付けられており、隠れた観光スポットとしても知られています。

一般に、三角点には測量標と呼ばれる柱石が堅固に設置され、その位置（緯度・経度）や標高が正確に求められています。このような三角点を基準として山や川の位置や道路・ダムなどの土木構造物の位置を精密に測っています。

一等から四等までランク分けされていて、最も基準となるものが一等三角点です。南北に長い日本列島をくまなく測量するため一等三角点は全国に約1,000箇所設置されており、隣接する一等三角点を結んだ一つの正三角形網が日本列島を覆っています。

三重県内では御在所山など11箇所に設置され、伊賀地方には下柘植の霊山にあります。また、二等三角点は一等三角点よりも細かく設置されていて全国に約5,000箇所あり、「勝地村三角点」は二等三角点に分類されています。三等三角点はさらに多く全国に32,000箇所あり、書店で購入することができる二万五千分の一地形図はこれら一等から三等までの基準点を用いて調製されています。

三角点は見通しの良い山頂に設置されることが多く、この三角点の踏破を目標に登山する方々も増えています。青山高原にある「勝地村三角点」は青山高原道路脇にある小高い丘「髻山（もとどりやま）」の頂上付近にあり比較的アクセスも簡単なので訪れてみてはいかがでしょうか。

【調査設計課 金山明広】



二等三角点「勝地村」

イベントのお知らせ

上野天神祭

400余年の伝統を持ち、伊賀上野の秋を彩る伊賀最大の祭です。国の重要無形文化財である鬼行列とだんじり巡行は、まるで絵巻物のような華やかさで、観客を夢の世界へと誘います。

【日時】10月23日（日）～25日（火）

【場所】上野天満宮、伊賀市三筋町（本町通り・二之町通り・三之町通り）

お問い合わせ／上野天神祭秋祭振興会
TEL 0595-21-0527

種生神社おわたり

種生神社の「わたり」は「こたつき渡御」というもので、むかし鹿島の神（種生神社の本来の祭神）が船で渡御した姿を写し伝えたものと言われ、伊賀では他に類をみない特徴的なものです。

【日時】10月29日（土）、30日（日） 12:30～16:30

【場所】種生神社

お問い合わせ／伊賀市青山支所振興課
TEL 0595-52-3220

編集後記

10月も近づき、秋の気配が感じられてきました。寝苦しい夏からも解放されて、快眠できる夜となりました。秋は、とても過ごしやすい季節です。冬を前に何か始めてみるのもいいかもしれません。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢（所長）
デスク 吉岡（総務課長）
" 足達（工務課長）
編集 金山（調査設計課）
記者 堀（総務課）
松高（第二用地課）
森岡（工事課）



ISO14001: 2004
JQA-EM576m

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇